

特集 リスク対応と P2M

—新しい生活様式の中でのマネジメントの在り方—

新型コロナウイルス感染のリスク対応により始まった社会様式の改革(新たな生活様式、新しい管理様式、新たな仕事様式、新たな会合様式、新たな交通様式、新たなコミュニケーション様式等)に対応できるようなプログラムマネジメントが求められています。定常業務の遂行が困難になり、経済的損出や生命の危険にまで及ぶ事態が発生するリスクを最小限にするための迅速な対策が求められています。

リスク回避レベルを生命重視からはじめ、徐々に経済を考慮した形に移行しながら最終的に今までに定常業務の目標を達成できるような業務管理システムが構築されることをプロジェクトと考えるその方法を通常のプログラム設計の中に代替プロジェクトとして準備するような新たなプログラムマネジメント研究が求められています。

本特集では、そのような社会ニーズに国際 P2M 学会がどのように応えていけば良いかを考えるヒントを集めることにしました。執筆は、学会の理事・評議員並びにリスク関係の論文を本学会の論文誌に書かれている会員の方にお願しました。さらに、理事・評議員の方から推薦をいただいた 3 名の方には特別寄稿を頂くことができました。執筆された方に御礼を申し上げるとともに、本特集を契機に国際 P2M 学会が社会のニーズに応えるように会員各位が新しいマネジメントの在り方に挑戦するきっかけになれば幸いです。

編集委員長 亀山秀雄

編集副委員長 佐藤達男

編集委員 中村 明、中山政行

西田絢子、中川唯

2020 年 8 月 15 日

特別寄稿

「スマートシティにおけるリスク対応課題」

白坂成功 (慶応義塾大学教授) pp. 3-8

「開発途上国における新型コロナウイルス感染症を含めた教育サービスにおけるリスクマネジメント」

神崎博之 (アビーム・コンサルティング (株)) pp. 9-16

「未来都市の創発とアーバンディジタルトランスフォーメーション」

西山敏樹 (東京都市大学都市生活学部准教授) pp. 17-24

解説記事

「Y 世代、Z 世代に期待する」

吉田邦夫 (国際 P 2 M 学会名誉会長) pp. 25-26

「コロナ共存社会における社会危機の克服のために」

小原重信 (国際 P 2 M 学会前会長) pp. 27-31

「エコシステム形成におけるリスク問題と P 2 M」

久保裕史 (国際 P 2 M 学会副会長) pp. 32-39

「オンライン授業での授業資料と著作権」

喜多一 (京都大学教授国際高等教育院教授) pp. 40-45

「新しい生活様式の中でのマネジメントの在り方」

佐藤達男 (広島修道大学教授) pp. 46-50

「プロジェクトにおけるリスクマネジメントに関する考察」

岩崎祐子 (四日市大学総合政策学部特任教授)

pp. 51-55

「IMHO : P2M のためのリスクマネジメント手法」

越島一郎 (名古屋工業大学名誉教授) pp. 56-62

「オンラインコミュニケーションツールの紹介と意識調査の結果」

田隈広紀 (千葉工業大学准教授) pp. 63-69